

氏名 中屋 来哉

所属 岩手県立中央病院

役職 医療研修部次長兼科長、副腎センター長兼腎臓・リウマチ科長

### これまでのキャリア

---

1999年に東北大学を卒業後、父の出身医局である金沢大学第一内科に入局しました。同時に大学院に進学し、卒後3年目からは腎臓グループに所属しました。大学院ではモデル動物を使った実験で学位を取得しましたが、3人目の子供の誕生を契機に医局を退局し、2007年4月に妻の実家近くの岩手県立中央病院に転職しました。赴任した当初、岩手県には他に腎臓内科がありませんでしたので、これまでに多くの臨床経験を積むことが出来ました。

### 私のもとではこれが学べる

---

診療科としての目標は腎臓病診療、リウマチ膠原病診療の自己完結です。当科では腎生検から透析導入、透析アクセス管理まで一貫して行っています。リウマチ科は2016年から標榜し、全てのリウマチ膠原病の入院・外来診療に対応しています。また、2019年12月からは当院で生体腎移植が開始となり、当科で術前精査や術後の内科的管理を行っています。また、新薬の治験、臨床研究、英文論文作成なども継続的に行っています。よって、当科では消化できないくらい多くのことが学ぶことができます。

### 教育にかける思い

---

当院赴任後の最初の10年は初期研修医をマンツーマンで指導していましたが、最近の5年は後期研修医が増えてきたため、その指導に当たっています。私は「医師は自分のためではなく、患者さんのために努力し続けることが大切である。」ということの後輩や若い医師に伝えていきたいと思っています。

### 医学生へのメッセージ

---

インターネットの普及によって、大都市部と地方の情報格差は少なくなってきています。過ごしやすい地方で一緒に頑張りましょう。子育てがしやすく、女性医師にもやさしい環境です。